

令和元年度職員採用試験（大学卒業程度）

総合土木 専門記述試験（元. 6. 23）

次の2つの課題のうち、いずれか1つに回答しなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興について

平成30年7月豪雨では、県内各地で観測史上初となる記録的な豪雨に襲われ、多くの人的被害、家屋やインフラ（河川護岸、道路等）などの物的損害など、戦後最大級の被害がもたらされました。

こうした中、広島県では、単なる復旧に留まらず、本県をさらに発展させるため、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」を策定し、公共土木施設の復旧等に取り組んでいるところです。

そこで、公共土木施設の復旧に取り組むに当たって、早期復旧や再度災害防止の観点を踏まえ、どう取り組むことが有効と考えるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

＝ 課 題 2 ＝

○農業用ため池の防災・減災対策について

広島県では、約19,600か所の農業用ため池が所在しています。近年では、農業者の高齢化による、農業用ため池管理の粗放化、また、農業用ため池周辺での都市化、混住化がすすみ、決壊した場合には下流域の住民や公共施設等が被災するリスクが高まっています。平成30年7月豪雨においても、農業用ため池が決壊し、甚大な被害が発生しました。

こうした状況から、ハードだけでなく、ソフトも含めた農業用ため池の防災・減災対策が重要な課題となっていますが、農業用ため池の防災・減災対策を進めるにあたり検討すべき課題をあげ、それに対する対策を述べなさい。